

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、少子化対策を進める上での基礎資料として、県民の子育てや結婚などについての意識を把握することを目的として実施したものです。

## 2. 調査の性格

- (1) 調査地域 福岡県全域
- (2) 調査対象者 県内に居住する満 20 歳から 49 歳までの男女
- (3) 標本数 10,000 サンプル
- (4) 標本抽出方法 選挙人名簿から層化二段無作為抽出  
県内各市区町村の人口数を基に調査地点数を決定し、500 地点を無作為抽出。その後、調査地点ごとに「選挙人名簿」から 1 地点 20 名、合計 10,000 名を抽出した。
- (5) 標本抽出台帳 平成 30 年 10 月現在の選挙人名簿
- (6) 調査方法 郵送法
- (7) 調査期間 平成 30 年 10 月 26 日～平成 30 年 11 月 19 日
- (8) 地域区分 今回の調査では、地域区分として① 4 地域、② 広域行政圏、③ 市郡別を使用しているが、その地域区分は以下のとおりである。

	福岡地域		筑後地域			筑豊地域			北九州地域	
	福岡都市圏	朝倉 広域市町村圏	久留米 広域市町村圏	有明 広域市町村圏	八女・筑後 広域市町村圏	飯塚 広域市町村圏	田川 広域市町村圏	直方・鞍手 広域市町村圏	北九州都市圏	京築 広域市町村圏
定都令市指	○ 福岡市								○ 北九州市	
都市部	○ 筑紫野市 ○ 春日市 ○ 大野城市 ○ 宗像市 ○ 太宰府市 ○ 古賀市 ○ 福津市 ○ 糸島市 ○ 那珂川市	○ 朝倉市	○ 久留米市 ○ 大川市 ○ 小郡市 ○ うきは市	○ 大牟田市 ○ 柳川市 ○ みやま市	○ 八女市 ○ 筑後市	○ 飯塚市 ○ 嘉麻市	○ 田川市	○ 直方市 ○ 宮若市	○ 中間市	○ 行橋市 ○ 豊前市
郡部	○ 宇美町 ○ 篠栗町 ○ 志免町 ○ 須恵町 ○ 新宮町 ○ 久山町 ○ 粕屋町	○ 筑前町 東峰村	○ 大刀洗町 大木町		○ 広川町	○ 桂川町	○ 香春町 ○ 添田町 ○ 糸田町 ○ 川崎町 ○ 大任町 ○ 赤村 ○ 福智町	○ 小竹町 ○ 鞍手町	○ 芦屋町 ○ 水巻町 ○ 岡垣町 ○ 遠賀町	○ 苅田町 ○ みやこ町 ○ 吉富町 ○ 上毛町 ○ 築上町

注) ○印は調査対象市町村

### 3. 回収結果

地域別の回収状況は、以下のとおりである。

	調査 対象数(人)	有効 回収数(人)	有効 回収率(%)
福岡地区	5,080	1,947	38.3
筑後地区	1,620	605	37.3
筑豊地区	780	240	30.8
北九州地区	2,520	852	33.8
無回答	—	58	—
合計	10,000	3,702	37.0

### 4. 調査企画と実施機関

- (1) 調査企画 福岡県福祉労働部子育て支援課  
 (2) 調査実施機関 公益財団法人 九州経済調査協会

### 5. 調査結果の分析者

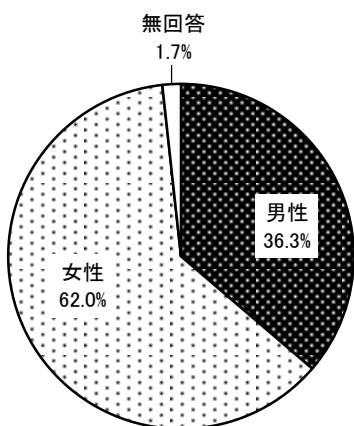
公益財団法人 九州経済調査協会 大谷 友男

### 6. 回答者の属性

		全 体		男 性		女 性		無回答	
全 体		3,702 (人)	100.0 (%)	1,343 (人)	36.3 (%)	2,295 (人)	62.0 (%)	64 (人)	1.7 (%)
年 齢	20～24歳	335	9.0	143	10.6	191	8.3	1	1.6
	25～29歳	388	10.5	134	10.0	252	11.0	2	3.1
	30～34歳	610	16.5	219	16.3	388	16.9	3	4.7
	35～39歳	720	19.4	273	20.3	443	19.3	4	6.3
	40～44歳	843	22.8	279	20.8	562	24.5	2	3.1
	45～49歳	743	20.1	288	21.4	449	19.6	6	9.4
	無回答	63	1.7	7	0.5	10	0.4	46	71.9
配 偶 関 係	未 婚	1,049	28.3	440	32.8	598	26.1	11	17.2
	配偶者（パートナー）が いる	2,406	65.0	856	63.7	1,530	66.7	20	31.3
	配偶者（パートナー）と 死別した	15	0.4	2	0.1	13	0.6	0	0.0
	配偶者（パートナー）と 離別した	185	5.0	39	2.9	143	6.2	3	4.7
	無回答	47	1.3	6	0.4	11	0.5	30	46.9
居 住 地 域	福岡地域	1,947	52.6	697	51.9	1,228	53.5	22	34.4
	筑後地域	605	16.3	233	17.3	367	16.0	5	7.8
	筑豊地域	240	6.5	99	7.4	139	6.1	2	3.1
	北九州地域	852	23.0	306	22.8	540	23.5	6	9.4
	無回答	58	1.6	8	0.6	21	0.9	29	45.3

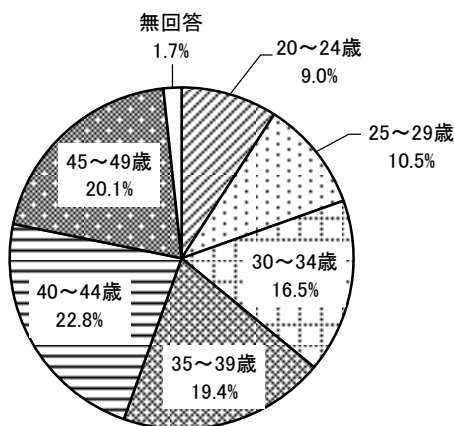
7. 回答者の属性（詳細）

【性別】



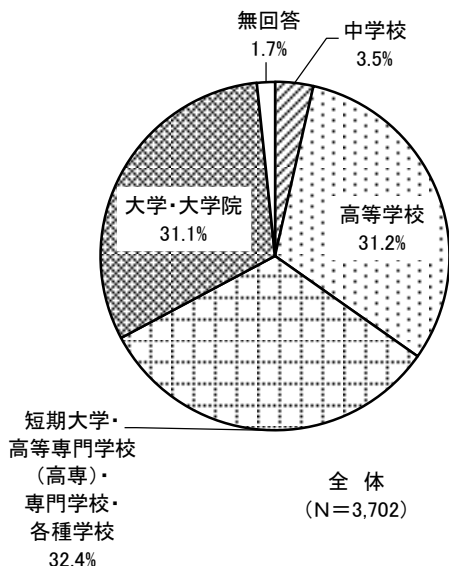
全体 (N=3,702)

【年齢】



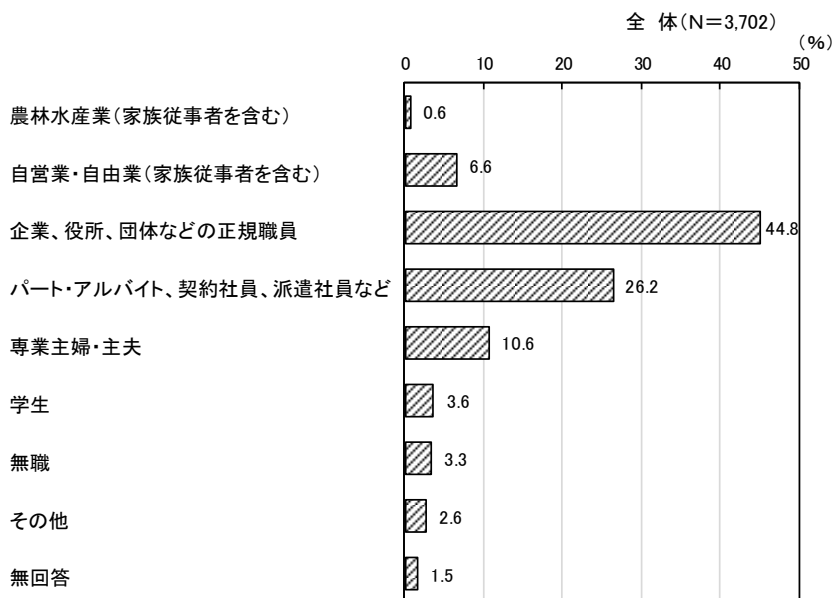
全体 (N=3,702)

【最終学歴】

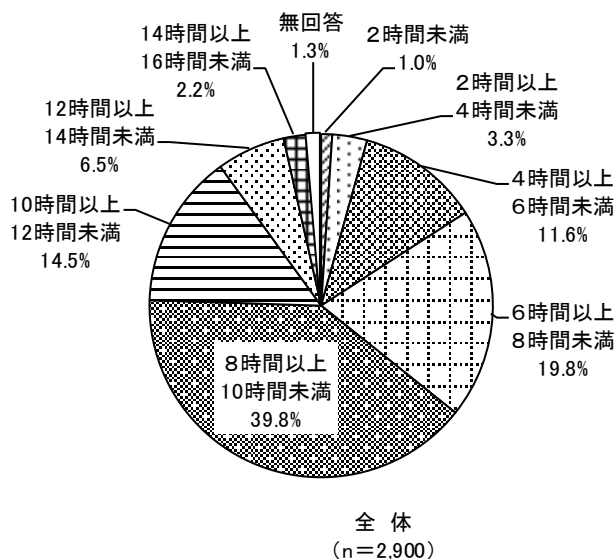


全体 (N=3,702)

【職業】

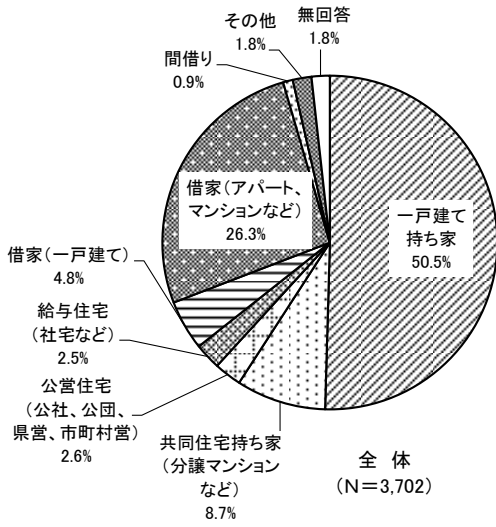


【平均的な労働時間】

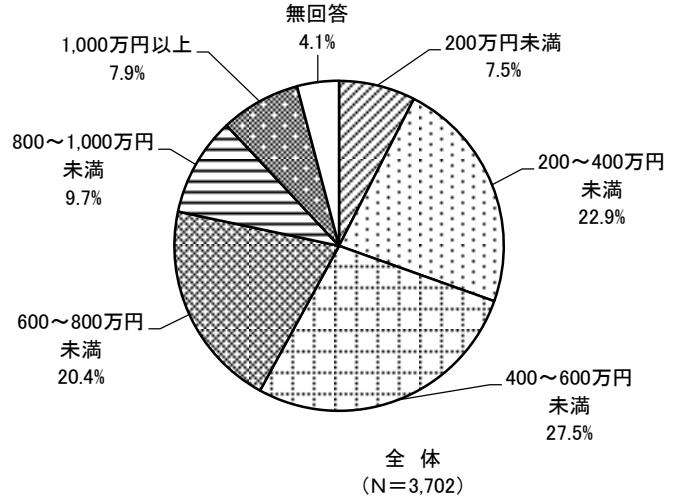


全体 (n=2,900)

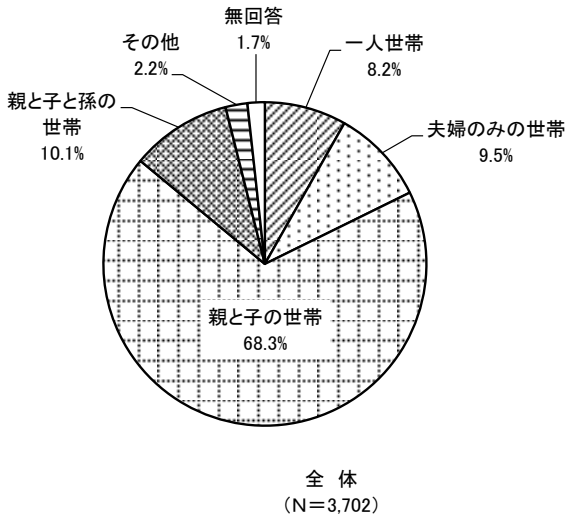
【住まいの形態】



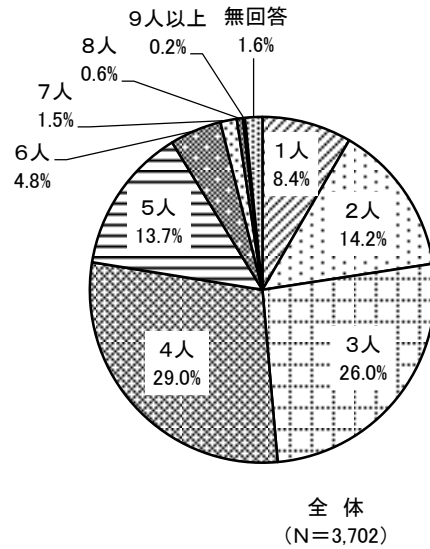
【世帯収入】



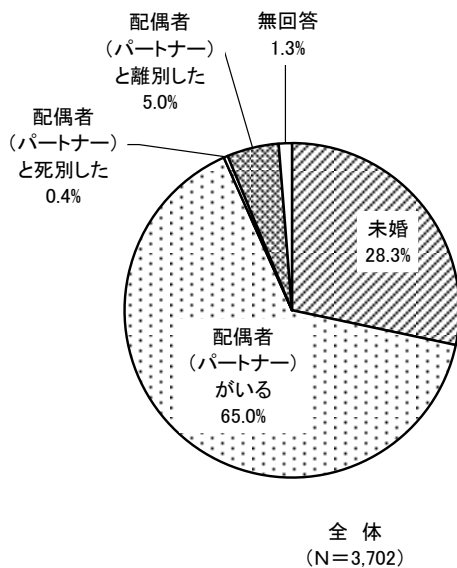
【同居家族の構成】



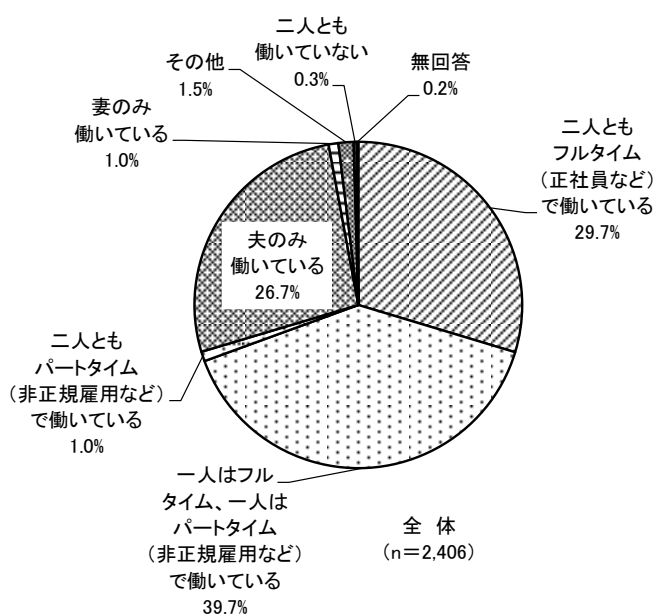
【同居家族人数】



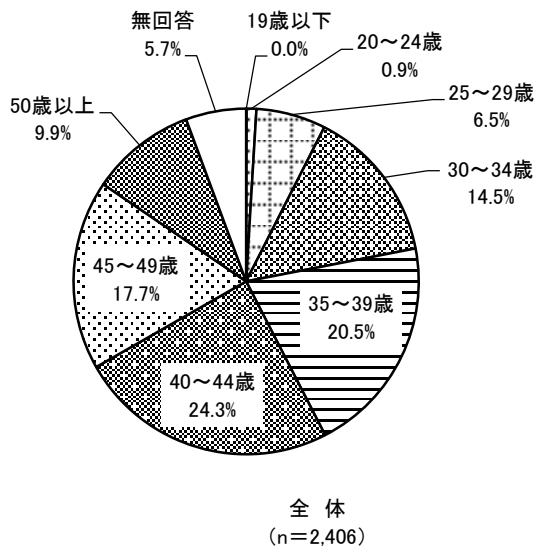
【配偶関係】



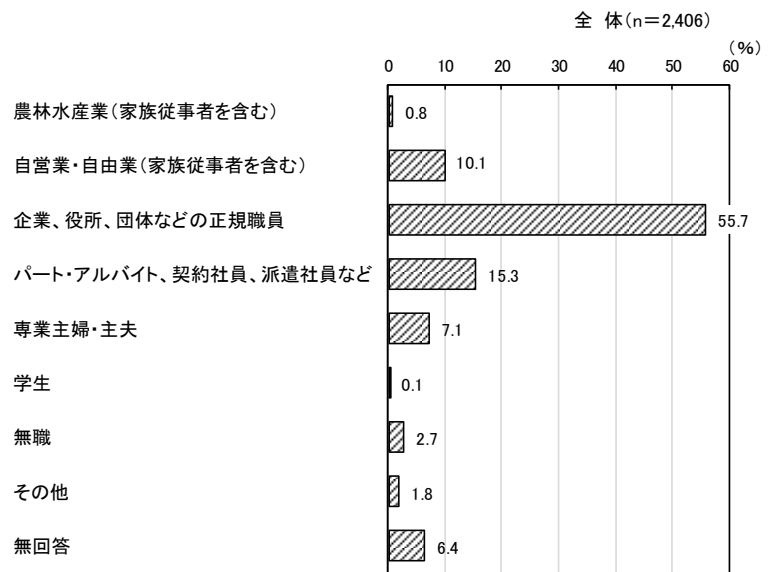
【共働き】



【配偶者（パートナー）の年齢】



【配偶者（パートナー）の職業】



## 8. 調査結果利用上の注意

- (1) 単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の基数（標本数）を100%としている。なお、回答率は百分比の小数点以下第2位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の集計については、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。したがって、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すN、nは、回答率算出上の基数（標本数）である。  
 N＝標本全数  
 n＝該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- (4) SQは前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問（Sub-Questionの略）である。この場合の回答者は設問回答の該当者のみである。
- (5) 数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。
- (6) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合は『 』としている。
- (7) 2つ以上の選択肢を合計して表している割合については、各選択肢の基数（標本数）の合計をもとに算出しているため、選択肢個々の回答率の合計とは、必ずしも同じにならない場合がある。
- (8) 属性別の分析において、サンプル数（標本数）が少ないものについては、分析コメントを割愛する場合がある。
- (9) 本調査は、次の資料と比較分析を行っている。
  - ・福岡県「子育て等に関する県民意識調査」平成26年3月
  - ・福岡県「子育て等に関する県民意識調査」平成21年3月